

刈谷駅北口整備予定図

一般質問・質疑終了後、予算審査特別委員会を経て各分科会で審査されました。

23日に開催された予算審査特別委員会では、各分科会での審査の経過と結果が報告され、一般会計及び後期高齢者医療特別会計に反対の意見がありました。が、採決の結果、賛成多数により原案のとおり可決されました。

24日の本会議では、予算審査

やすらぎを次の世代につなぐ60周年予算

総額774億1,900万円を可決

— 予算審査特別委員会のあらまし —

平成22年度予算は、本会議での一般質問・質疑に続き、全議員で構成する予算審査特別委員会を経て、各分科会で審査されました。

一部の予算に反対意見がりましたが、起立採決の結果、賛成多数で可決されました。

特別委員会の報告を受け、討論が行われました。

討論では、保育を株式会社運営させていること、民間の病院である刈谷豊田総合病院に無償貸付をすること、市営住宅が不足しているのに対し、新規の建設をしないことなどに反対であるとの意見が出されましたが、採決の結果、議案はいずれも原案のとおり可決されました。

本会議での質疑

一般質問・質疑では、市長にその方針を問いました。

(主な質疑)

平成22年度予算の特徴について、旧庁舎取り壊し等事業について、市制60周年記念事業について、財政見直しについて、小

分科会・委員会での審査

現保健センターの改修について、事業系一般廃棄物減量事業の取り組みについて、不妊治療費助成事業の実績について、子ども手当に係る費用について、児童クラブの施設整備について

建設水道

フローラルガーデンの管理運営費について、銀座E地区の整備内容について、橋りよの長寿命化事業について、市営住宅の修繕について、刈谷駅北口の整備について

文教

通学路の非常警報装置について、グリーングラウンド刈谷の施設整備内容について、給食調理委託にかかる人件費について、公立高校授業料無償化と私学助成制度について

企画総務

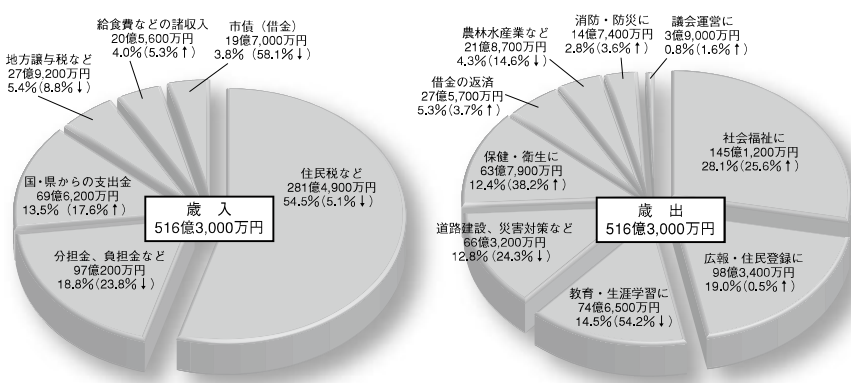
青山斎園改修事業について、職員駐車場の職員負担について、交通安全対策費について、予算書の様式について、平成21年度予算との比較について

福祉経済

平成22年度予算の総額

会計名	本年度	前年度比較	伸び率
予算総額	774億1,900万円	▲65億8,400万円	▲7.8%
一般会計	516億3,000万円	▲64億1,000万円	▲11.0%
特別会計	212億8,500万円	▲7億700万円	▲3.2%
半城土高須 土地区画整理事業会計	9,000万円	▲5,700万円	▲38.8%
小垣江駅東部 土地区画整理事業会計	2億9,600万円	▲2,700万円	▲8.3%
野田北部 土地区画整理事業会計	1億円	▲2,800万円	▲21.6%
下水道事業会計	43億9,500万円	▲5億3,500万円	▲10.8%
国民健康保険会計	100億4,500万円	▲2億5,500万円	▲2.5%
老人保健会計	600万円	▲1億200万円	▲94.3%
後期高齢者医療会計	11億3,900万円	▲200万円	▲0.2%
介護保険会計	52億1,300万円	2億9,800万円	6.1%
企業会計	45億 400万円	5億3,400万円	13.4%
水道事業会計	45億 400万円	5億3,400万円	13.4%

一般会計の内訳 ()内は対前年度比



〈地方譲与税他の内訳〉 利子割交付金、配当割交付金、株式等譲渡所得割交付金、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金、地方交付税、交通安全対策特別交付金

〈分担金、負担金他の内訳〉 使用料及び手数料、財産収入、寄附金、繰入金、繰越金

〈農林水産業他の内訳〉 労働費、商工費、災害復旧費、諸支出金、予備費

(注) それぞれの数字は四捨五入しているため、総額や割合と一致していない場合があります。

特別会計と企業会計のあらまし

本市には一般会計のほか、特別会計が8会計と企業会計が1会計あります。予算総額のうち、特別会計は212億8,500万円で、27.49%、企業会計は45億400万円で5.82%を占めています。

特別会計は、自治体が特定の事業を行う場合などに、一般会計から分離して経理を行うものです。

企業会計とは、株式会社等の民間企業と同様の会計方式により、経理を行います。特に、水道事業の運営は、「地方公営企業」の一つであり、公営という面と企業という面を持っているため、一般会計、特別会計とは別に、収支を計上します。

特別会計

- 土地区画整理事業**…公共施設の整備改善と土地の利用増進を図り、健全で良好な市街地の造成を目的としています。
 - 〈半城土高須地区〉 施行面積 23.5%
主な事業：交差点改良工事、配管移設補償、換地計画書等作成委託、画地確定測量委託
 - 〈小垣江駅東部地区〉 施行面積 81.7%
主な事業：建物等調査委託、道路築造工事(51区)、物件移転(1件ほか)
 - 〈野田北部地区〉 施行面積 4.4%
主な事業：画地確定測量、整地工事(1,250平方区)、物件移転(2件ほか)

下水道事業…家庭等の生活排水を適切に排除し快適な生活環境を確保するとともに、川や海の水質を保全し、自然環境を守ります。また、雨水を速やかに排除し、浸水被害から住民の安全を確保します。

国民健康保険…相互扶助の精神のつと、保険加入者の医療費の負担や、出産、葬祭に関わる費用を支給します。

後期高齢者医療…老後における健康の保持と医療の確保を図り、世代間の負担を明確化することで、高齢者の福祉を増進します。
※老人保健医療は平成20年4月1日から後期高齢者医療へと変わりましたが、それまでの医療費の精算等のため老人保健会計は存続します。

介護保険…介護が必要になっても住み慣れた地域や自宅で、できるだけ自立した生活を送ることができるよう、介護サービスの体制を整えます。
要介護・要支援認定者が介護サービスを利用した際に費用の9割分を保険から給付します。また、要介護・要支援状態になるおそれの高い方に、予防事業を実施します。

企業会計

水道事業…安全で良質な水道水を常時安心して使用できるよう完全の体制を整えます。
給水戸数58,141戸、年間総給水量17,531,000立方区、1日の平均給水量48,030立方区

平成22年度施政方針に見る主な事業 竹中良則市長

やすらぎ、いきがい、うるおい、いろどり、しんらいをキーワードに、市民の皆様が、“元気で幸せ”を実感できるまちづくりを推進します。



やすらぎ



暮らしの安心と安全を重要なものとして、不安なく日常生活を送ることができるよう各種施策を推進します。

- かりがね、朝日、日高の各小学校の敷地内に児童クラブを整備 **1億4,100万円**
- 高須、一ツ木、元刈谷、東部、重原の各市民館にエレベーターを設置 **1億2,500万円**
- 一般不妊治療費助成額を年間10万円に増額し、助成期間の年数制限を撤廃 **1,100万円**
- 中学校終了までの児童に1人当たり月額13,000円の子ども手当を支給 **31億3,500万円**

うるおい

交通渋滞などの課題の解消に取り組み、快適で住みやすい都市基盤を整備します。



- 城址公園的な桜の名所として、亀城公園を再整備 **3,300万円**
- 地域住民と意見交換会を開催し、地域に親しまれる公園を計画 **360万円**
- 交通渋滞緩和のため、国道155号から逢妻駅西側を立体交差する道路を整備 **3億3,700万円**
- 刈谷駅北口に収容台数約476台分の平面駐輪場を整備 **8,600万円**
- 1日2組の葬送行事を可能とするため、青山斎園を改修(22・23年度) **1億4,000万円**

いろどり



歴史や文化を未来へと語り継ぎ、文化やスポーツなどの生涯学習や人と人との交流を支援して、豊かな人生を送れるよう努めます。

- 歴史・考古・民俗などの資料を収集し、文化的遺産の散逸を防ぐため歴史博物館を建設(基本計画策定) **490万円**
- 国の登録文化財である郷土資料館の改修及び耐震補強工事を実施 **8,800万円**
- 国際化・多文化共生施策を推進するため、今後の推進計画を策定 **190万円**

しんらい

市民から信頼される行政を目指します。



- 南庁舎を改修し、社会教育センターや市民ボランティア活動支援センターを整備するための実施設計を実施 **1,000万円**
- 昭和29年建設の老朽化した市庁舎を建て替え、利便性及び防災性を向上(20～22年度) **87億7,200万円**

いきがい



健康で元気に暮らせるように健康づくりや生きがい支援、産業の振興を図ります。また、次世代を担う子どもたちの健やかな成長のため、教育環境の充実を図ります。

- 健康増進、子育て支援、早期療育機能を持った新保健センターを移転建設(21・22年度) **16億9,200万円**
- 総合運動公園から日高公園までの逢妻川沿いに、河川敷を利用してサイクリングロードの実設計画を実施 **700万円**
- 離職者の安定した求職活動の支援のため、臨時的な緊急雇用事業を実施 **1億1,100万円**
- 安心・安全な医療サービス向上のため、刈谷豊田総合病院の高度先端医療に対応可能な手術棟整備に助成(21・22年度) **7億4,500万円**
- 中高生の居場所づくりとして、地域の人々と交流し、悩みの相談や自ら企画した自主的な行動ができる環境を整備 **220万円**

教育行政方針 太田 武 司 教育長

「生きる力」を育成するために、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図ります。また、自ら求め、学習する意欲と能力が養えるように、各種事業の開催や市民の多様化する活動を支援します。

学校教育の充実

- 日本語がうまく話せない外国にルーツを持つ子どもたちのために、生活習慣や言語を学べるプレスクールを開設 **200万円**
- 子どもたちの積極的な体づくりや運動の場を整えるため、体力向上プロジェクトを立ち上げ
- 中学校の部活動活性化のため、外部指導者を増員し、地域や地元企業と連携 **270万円**
- 安心して学べるように、日高小学校に校舎を増築するほか、第二学校給食センター跡地をかりがね小学校のグラウンドに整備 **2億7,400万円**
- アレルギー対応給食を実施して安心安全な給食を提供 **140万円**

生きがいをもつ生涯学習都市づくり

- 総合文化センターにおいて、1年を通してさまざまな開館記念公演を実施 **1億7,000万円**
- 市役所南庁舎を改修し、社会教育センターなどに利用 **1,000万円**
- 初代刈谷藩主水野勝成を紹介するDVDを作成 **600万円**
- チェコアニメの巨匠、カレル・ゼマン展を開催 **1,500万円**



カレル・ゼマン展を開催

「ホジークとミンエカ」切り紙アニメーション原画 1980年